

平成 16 年度当初予算案

主要事項説明資料

商 工 部

主要事項説明資料目次

商工部

| 頁 | 事業名 | 担当課 |
|----|-----------------------|---------|
| 1 | 中小企業金融対策費 | 商工振興課 |
| 2 | 京都ITバザール推進事業費 | 産業活力支援室 |
| 3 | 京都ベンチャー育成工場整備推進事業費 | 産業活力支援室 |
| 4 | 产学公連携研究開発資金支援事業費 | 産業活力支援室 |
| 5 | 京都企業創造ファンド創設事業費 | 産業活力支援室 |
| 6 | 京都デザインインキュベーション展開事業費 | 産業活力支援室 |
| 7 | 地域商業振興事業費 | 観光・商業課 |
| 8 | 舞鶴港農産物輸入開拓事業費 | 産業活力支援室 |
| 9 | 和装・伝統産業総合支援事業費 | 染織・工芸課 |
| 10 | 高校生きものチャレンジ事業費 | 染織・工芸課 |
| 11 | ミラノにおける関西展(仮称)開催事業費 | 染織・工芸課 |
| 12 | 観光都市KYOTOケータイサポート事業費 | 観光・商業課 |
| 13 | 外国人観光客誘致促進事業費 | 観光・商業課 |
| 14 | 府市連携京都観光案内推進費 | 観光・商業課 |
| 15 | 外国人観光インフォメーションセンター設置費 | 観光・商業課 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------------------|--------------|--|------|---|------|---------------|--------|---------------------------|-------|-----------------------|-------|-------------------|------|-----------|------|---------------|--|--|--|
| 事業名 | 中小企業金融対策費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額 | 48,500,000千円(預託金) | 新規・継続の別 | 継続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○ 平成16年度中小企業金融対策の概要</p> <p>◆ メニューの統合・簡素化 (⑯31資金→⑯7資金) 現行の融資制度を、目的や性格別に共通性のあるものを統合・再編し、簡素でわかりやすい制度に全面改組するとともに、金融機関受付による融資の効率化、迅速化を図る。</p> <p>◆ 中小企業の再生支援対策の実施 京都市と共同し、大幅な要件緩和等を実施するなど、厳しい経営環境にある府内中小企業者がより一層活用しやすい新たな融資制度を創設し、中小企業の再生や事業継続を支援。</p> <p>○ 無担保・無保証人融資の創設《全国初、オンライン制度》 経営基盤の脆弱な小規模・零細企業を支援するため、納税要件を撤廃し、法人の代表者さえも連帯保証人に徴求しない無担保・無保証人制度を創設。 (実施期間: 2年程度)</p> <p>■ 小規模企業おうえん融資(仮称)</p> <table border="1"> <tr> <td>融資対象者</td><td>小規模企業者(従業員20人(商業・サービス業は5人)以下)</td></tr> <tr> <td>融資限度額</td><td>1,250万円 [セーフティネット保証の認定を受け、別枠を併用することにより最大2,500万円まで利用可能]</td></tr> <tr> <td>融資利率</td><td>年2.0%(納税要件を満たす者は1.8%)<固定> ※売上減少企業及びセーフティネット保証の認定を受けた企業は、特利1.8%(納税要件を満たす者は1.5%)</td></tr> <tr> <td>融資期間</td><td>運転資金5年、設備資金7年</td></tr> <tr> <td>担保・保証人</td><td>担保、連帯保証人不要(法人代表者の連帯保証も不要)</td></tr> </table> <p>○ 売上減少要件を緩和した融資の創設 現行の売上減少の「5%」要件を撤廃し、新規資金や京都府・京都市の制度融資の借換が可能な特別融資を創設</p> <p>■ 経営支援特別融資(仮称)</p> <table border="1"> <tr> <td>融資対象者</td><td>直近3か月間の売上が減少している中小企業者</td></tr> <tr> <td>融資限度額</td><td>無担保8,000万円、有担保2億円</td></tr> <tr> <td>融資利率</td><td>年1.8%<固定></td></tr> <tr> <td>融資期間</td><td>運転資金5年、設備資金7年</td></tr> </table> <p>◆ あんしん借換融資の延長(12月末まで) 本年3月末までとしていた実施期間を、年末の資金需要に対応できるよう京都市をはじめ関係機関と調整し、年末まで延長実施し、引き続き厳しい経営環境にある中小企業の資金繰りを支援。</p> <p>◆ 経営活力融資の充実、創業育成融資の継続実施 中小企業の設備投資や開業率の向上を促すため、設備投資資金を融資する「経営活力融資」を充実・強化するとともに、開業資金を融資する「創業育成融資」を継続実施。</p> <p>■ 経営活力融資の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資対象に「組合」を追加 ・災害復旧資金を加え、年1.8%の特別金利を設定(通常:年2.0%) | 融資対象者 | 小規模企業者(従業員20人(商業・サービス業は5人)以下) | 融資限度額 | 1,250万円 [セーフティネット保証の認定を受け、別枠を併用することにより最大2,500万円まで利用可能] | 融資利率 | 年2.0%(納税要件を満たす者は1.8%)<固定> ※売上減少企業及びセーフティネット保証の認定を受けた企業は、特利1.8%(納税要件を満たす者は1.5%) | 融資期間 | 運転資金5年、設備資金7年 | 担保・保証人 | 担保、連帯保証人不要(法人代表者の連帯保証も不要) | 融資対象者 | 直近3か月間の売上が減少している中小企業者 | 融資限度額 | 無担保8,000万円、有担保2億円 | 融資利率 | 年1.8%<固定> | 融資期間 | 運転資金5年、設備資金7年 | | | |
| 融資対象者 | 小規模企業者(従業員20人(商業・サービス業は5人)以下) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資限度額 | 1,250万円 [セーフティネット保証の認定を受け、別枠を併用することにより最大2,500万円まで利用可能] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資利率 | 年2.0%(納税要件を満たす者は1.8%)<固定> ※売上減少企業及びセーフティネット保証の認定を受けた企業は、特利1.8%(納税要件を満たす者は1.5%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資期間 | 運転資金5年、設備資金7年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保・保証人 | 担保、連帯保証人不要(法人代表者の連帯保証も不要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資対象者 | 直近3か月間の売上が減少している中小企業者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資限度額 | 無担保8,000万円、有担保2億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資利率 | 年1.8%<固定> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 融資期間 | 運転資金5年、設備資金7年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当課・係名 | 商工振興課 金融・組合室 金融担当 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4822 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|-------------------------|---|-----------|--------------|
| 事業名 | 京都ITバザール推進事業費 | | |
| 予算額 | 183,693千円 | 新規・継続の別 | 継 続 |
| | | | |
| 事業内容 目的 対象 方法等 | <p>1 事業趣旨 「ケータイ産業」を21世紀の京都の地場産業に育成する取組をはじめ、既存の京都企業の発展を図ることはもちろん、IT関連等成長産業の誘致やベンチャー企業の育成も行いながら、学術・文化や産業集積、京都ブランド等の特色を活かし、21世紀型産業の集積エリアを目指す「京都ITバザール構想」の具体化を推進する。</p> | | |
| | <p>2 事業内容</p> <p>(1) ケータイ国際フォーラム開催事業 ケータイ国際フォーラムのこれまでの成果を更に推進するため、ケータイ産業の発展が著しい中国と連携したフォーラムを開催することにより、中小ベンチャーの出展支援等を通じた日中間のビジネスマッチング等を一層推進とともに、ケータイ産業のメッカ「京都」を国内外に情報発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業費 4,000千円 ●実施主体 府や経済界等で実施主体を設置 ●開催地 京都：トップカンファレンス 中国（天津・北京）：展示会、ビジネスミーティング <p>(2) けいはんなベンチャーセンター運営事業 関西文化学術研究都市の研究成果や優れた研究開発環境を活用した産業活性化を促進するため、新産業創出及びベンチャー育成の拠点となる「京都府けいはんなベンチャーセンター」を運営し、入居企業29社の成長を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業費 142,500千円 ●実施主体 （株）けいはんな <p>(3) 西陣IT路地運営事業 <small>ろうじ</small> 西陣におけるITベンチャーの育成を図るため、产学研連携による人材育成及び新産業育成拠点として、インキュベートルーム「西陣IT路地」を運営し、入居企業9社の成長を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業費 9,500千円 ●実施主体 NPO法人京都西陣町家スタジオ <p>(4) IT活用経営革新・新産業育成事業 中小企業のITを活用した経営革新に対する支援、ITの活用や京都の資源を活かす新産業育成などに対して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業費 27,693千円 | | |
| 担当課・係名 | 産業活力支援室・新産業推進チーム | 課・係直通電話番号 | 075-414-4854 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|--------|--|-----------|--------------|
| 事業名 | 京都ベンチャー育成工場整備推進事業費 | | |
| 予算額 | 112,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| | | | |
| | | | |
| 事業内容 | <p>1 事業趣旨 けいはんなベンチャーセンター等創業期向け貸研究施設卒業企業など、セカンドステージの「ものづくり系ベンチャー」の成長を総合的に支援する、新たなソフト支援を含めた「ベンチャー育成工場」を8区画整備する。</p> <p>2 事業内容 日産跡地において、宇治市が民間企業等と連携して行う、ベンチャー育成工場等の施設整備に対し助成するとともに、民間ノウハウ・ネットワークを活用した伴走型支援や、既存のベンチャー支援事業等を活用した支援を行う。</p> | | |
| | <p>(1) 施設整備の概要 規 模：延床面積200m²程度×8区画 入居対象：研究開発段階を終え、本格的な生産拠点展開を目指し、試作・研究開発を行う「ものづくりベンチャー」8社（公募選考） 賃 料：1,000円/m²+共益費（予定） 入居期間：7年以内 開設時期：17年3月以降</p> <p>【備考】会議室等入居企業の共用施設を含む支援施設を別途整備</p> <p>(2) 事業実施主体 宇治市</p> <p>(3) 府の支援 施設（建屋）建設費の1/4を補助</p> | | |
| 担当課・係名 | 産業活力支援室 新産業推進チーム | 課・係直通電話番号 | 075-414-4854 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|--|--------------------|-----------|--------------|
| 事 業 名 | 産学公連携研究開発資金支援事業費 | | |
| 予 算 額 | 200,000千円 | 新規・継続の別 | 継 続 |
| 1. 目的 次代の京都経済の発展を担う新産業創成や新分野開拓の一環として、大学の技術移転や新産業・ベンチャーの育成、中小企業の技術向上を図る、産学公連携による共同研究開発を促進するため、中小企業を含む企業や大学のグループへの新たな資金供給を実施する。 | | | |
| 2. 事業概要 (1) 対象 新京都ブランド分野<IT、QOL(生活の質の向上を図る産業)、環境、試作産業等>において、事業化・産業化を前提として、産学公連携による共同研究開発を行うグループ(府内中小企業を含むものに限る) (2) 事業スキーム ■1グループに対し、1億円を上限に資金支援(2~3年の複数年支援) ※上限:研究開発経費の2/3以内 ■研究開発の進捗状況について第三者によるチェックを実施 ※成果への到達が困難な場合には資金支援を中断 (3) 事業実施主体 財団法人京都産業21 (4) 採択要件(対象事業に求める成果) 共同研究開発の実施後、下記の何れかの成果が確実に見込まれること等 ・ベンチャー企業の創出 ・新会社の設立(第二創業等を含む) ・新部門の創出 ・知的財産権の取得 | | | |
| 3. 事業費 200,000千円 ⑯新規採択3グループ、⑮からの継続3グループの計6グループを支援 ※財団法人京都産業21において資金支援を行うための基金を造成 | | | |
| 4. 備考 単年度毎に開発ステージを区分しないなど、開発現場の実態に合わせ、共同研究開発の実効性を高め、事業化・産業化の促進を図る全国でも例のない制度 | | | |
| 担当課・係名 | 産業活力支援室 産学公連携推進チーム | 課・係直通電話番号 | 075-414-4853 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|-------------------------|---|-----------|--------------|
| 事業名 | 京都企業創造ファンド創設事業費 | | |
| 予算額 | 300,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| | | | |
| | | | |
| 事業内容 目的 対象 方法等 | <p>1 趣旨 「ベンチャーの都」の新たな担い手として、将来、発注型企業となり、京都経済全体に大きな波及効果を与えるものづくり系ベンチャーの発掘・誘致と育成を図るため、これまでの研究開発費助成や融資等による中小・ベンチャー支援の取組に加え、新たにファンドを通じた投資による資金支援の手法を取り入れ、公民が協調して京都を挙げて支援するベンチャー投資ファンドを創設する。</p> <p>2 事業概要 2種類のファンドを創設し、京都に根付いた将来性の高いアーリーステージのものづくり系ベンチャーへの積極的な資金供給を実施し、その成長を支援するとともに、国内外から世界的にも注目されるものづくり系ベンチャーを誘致・育成する施策を展開する。</p> <p>■地域ものづくり産業育成ファンド (16 300,000千円) 府内のものづくり系ベンチャーを発掘・育成するファンド 【規模等】 総額20億円(府の出資割合30%) 府の第一次出資として、3億円をファンドに出資 【対象】 新京都ブランド(I.T、Q.O.L(生活の質の向上を図る産業)、試作産業等) の府内のものづくり系ベンチャー 【投資見込】 16~18年度にかけて府内のものづくり系ベンチャーに対し、1企業当たり約1億円を限度に最低8企業以上への投資を実施 ※残りの資金については、投資先企業を積極的に支援するための育成・指導や府内のものづくり系ベンチャー以外の企業等に投資し、ファンドのリスクを軽減するために活用</p> <p>■世界的ベンチャー誘致・育成ファンド (16 -) 国内外から優秀なベンチャーを誘致・育成するファンド 【規模等】 16年度に制度を創設し、投資案件を募集(府の出資割合30%) 【対象】 ナノテクノロジー・新素材分野の国内外のものづくり系ベンチャー 【投資見込】 5億円程度のファンド×5件程度</p> <p>※事業実施主体：財団法人京都産業21</p> <p>3 事業費 300,000千円 ※財団法人京都産業21において、ファンドを創設するための基金を造成</p> | | |
| 担当課・係名 | 産業活力支援室 新産業推進チーム | 課・係直通電話番号 | 075-414-4852 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|-----------------|--|-----------|--------------|
| 事業名 | 京都デザインインキュベーション展開事業費（京都スタイル） | | |
| 予算額 | 10,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| <趣旨> | <p>府内外から優秀なデザイナーを誘致・集積するとともに、伝統産業をはじめとした府内中小企業の新たな市場開拓を図るため、京都素材を扱いデザイナーブランドを目指す起業家に対し、情報発信力や集客力のある場の提供を行う。</p> <p>[全国初のデザインに特化したインキュベーション施設の整備・運営]</p> | | |
| 事業内容 | <p><事業内容></p> <p>【実施場所】 新風館3階 (中京区烏丸通姉小路下ル場之町)</p> <p>【事業規模】 最大10店舗（1店舗5坪平均）</p> <p>【事業期間】 6年間（最長3年×2サイクル） 1年毎に入居継続審査</p> <p>【事業対象】 府内外のプロデューサー的能力を有する新進のデザイナー</p> <p>【入居要件】 ・「京都スタイル」ブランドの元での活動。 ・京都の職人、中小企業等と協調し、京都の素材を活用した新商品を開発し、退居後も京都の素材活用を図る。</p> | | |
| 目的 対象 方法等 | <pre> graph TD A["新風館 全体のプロデュース"] --> B["<デザインインキュベーション> デザイナー起業家 + 京都の伝統産業中小企業等 (素材の提供)"] C["<アドバイザ一群> ・新風館 ・商社 ・ファッション 関係 ・府 ・著名デザイ ナー"] --> B </pre> | | |
| 担当課・係名 | 産業活力支援室 産学公連携推進チーム | 課・係直通電話番号 | 075-414-4849 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|---------------------|---|-----------|--------------|
| 事 業 名 | 地 域 商 業 振 興 事 業 費 | | |
| 予 算 額 | 1 2 9 , 0 0 0 千円 | 新規・継続の別 | 新 規 (一部継続) |
| 事 業 内 容 | <p>1 趣 旨 京都らしい商いとまちの賑わいの実現や中心市街地における商業活性化を目指し、商店街団体や商業者等が取り組むハード・ソフト両面にわたる各種事業を支援する。</p> <p>2 事業内容 (1) 商店街活性化支援事業費 (75,000千円) [継続] ①商業基盤施設等整備事業 商店街の活性化と府民の利便に寄与するアーケード、カーブ舗装、電子計算機、防犯カメラ等の商業基盤の整備等に対して助成する。(補助率:府1/2) ②魅力ある商店街づくり推進事業 地域の特性や生活環境と調和した魅力ある商店街づくりを目指して商業団体が取り組む街路灯、統一看板等の商店街施設設置やリフレッシュ事業等に対して助成する。(補助率:府1/3)</p> <p>(2) 商店街・商業者チャレンジ総合事業費 (54,000千円) [新規] ①地域商業チャレンジ支援事業 (44,000千円) ア 京の商店街チャレンジ 21 商業団体が地域社会と連携して、まちづくりの視点に立った活性化を目指し、創意工夫とチャレンジ精神溢れる自主的な取組(ソフト事業)に対して助成する。(補助率:府1/2~3/4) イ 中心市街地商業活性化推進 中心市街地活性化施策に取り組もうとする「まちづくり機関(TMO)」等が実施するコンセンサス形成事業等に対して助成する。(補助率:府9/10) ウ 意欲的商業者グループ支援 先進的な個店グループが取り組む、魅力ある店舗づくりの調査・研究、新たな観光商業の担い手になるビジネスプランの策定、商店街集客イベント・地域連携イベントの開催に対して助成する。(補助率:府2/3) ②商業ベンチャー育成等空き店舗活用事業 (10,000千円) ア 商業ベンチャー育成 商店街の空き店舗を新規開業者向けのチャレンジショップとして整備し運営する事業に対して助成する。(補助率:府2/3) なお、チャレンジショップの業種・業態等は、地域の学生等新規開業予定者を対象としたビジネスプランコンテストにより決定する。 イ コミュニティ施設整備 商店街振興組合、NPO法人、社会福祉法人等が実施する商店街の空き店舗をコミュニティ施設(保育施設や高齢者向けの交流施設等)として整備・運営する取組に対して助成する。(補助率:府2/3)</p> | | |
| 目 的 対 象 方 法 等 | | | |
| 担当課・係名 | 観光・商業課 商業係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4839 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| 事業名 | 舞鶴港農産物輸入開拓事業費 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|----------------------------------|--------------|--|----|-----|------|---------|--|-------|-----|------|------|-------------|---|------|----------|----------------------------------|
| 予算額 | 20,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>1 趣旨</p> <p>舞鶴港が地理的優位性を有するロシアはじめ対岸諸国等からの農産物輸入の実現を図るとともに、舞鶴－ナホトカ定期航路開設への布石とし、日本海側農産物輸入拠点を目指すため、既存くん蒸倉庫を農産物輸入に対応できるよう機能強化を図る。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 2 事業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的 対象 方法等 | <p>農産物輸入に対応可能な定温高速くん蒸機能倉庫を整備する。 (総事業費 約40,000千円)</p> <p>■(株)舞鶴21の第2倉庫2号庫(約300m³)を改修 臭化メチルによる高速くん蒸機能及び定温機能を付加</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状</th> <th>整備前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス種類</td> <td colspan="2">臭化メチルガス</td> </tr> <tr> <td>くん蒸時間</td> <td>3時間</td> <td>48時間</td> </tr> <tr> <td>定温機能</td> <td>付加(10℃まで冷却)</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>対応品目</td> <td>青果物・穀物全般</td> <td>稻わら・袋詰め米麦 えんどう・大豆・ コーヒー豆 等</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 現状 | 整備前 | ガス種類 | 臭化メチルガス | | くん蒸時間 | 3時間 | 48時間 | 定温機能 | 付加(10℃まで冷却) | 無 | 対応品目 | 青果物・穀物全般 | 稻わら・袋詰め米麦 えんどう・大豆・ コーヒー豆 等 |
| | 現状 | 整備前 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガス種類 | 臭化メチルガス | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| くん蒸時間 | 3時間 | 48時間 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定温機能 | 付加(10℃まで冷却) | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対応品目 | 青果物・穀物全般 | 稻わら・袋詰め米麦 えんどう・大豆・ コーヒー豆 等 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当課・係名 | 産業活力支援室 貿易振興チーム | 課・係直通電話番号 | 075-414-4840 | | | | | | | | | | | | | | | |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | | |
|------------------------------------|--|--|-----------|------------------------------|
| 事業名 | 和装・伝統産業総合支援事業費 | | | |
| 予算額 | 89,550千円 | 新規・継続の別 | 新規 | |
| | ◇ 西陣織・京友禅等産地活性化推進事業 51,550千円 | | | |
| 事業内容 〔目的 対象 方法等〕 | 趣 旨 | 厳しい経済環境に直面する京都の和装・繊維産業の危機を打開し、21世紀の新しい展望を切り開くため、西陣織・京友禅等の産地組合等が行う新商品開発、需要開拓事業等に助成する。 | | |
| | 事 業 費 | 京都府補助金 | 基金運用益※ | 合計助成額 |
| | | 51,550千円 | 51,550千円 | 103,100千円 |
| | 助成内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合和装振興事業 「きもの似合うまち・京都」推進事業 ○ 西陣産地振興対策事業 ○ 京友禅産地振興対策事業 ○ 繊維流通・ファッショングループ振興対策事業 | | |
| ※西陣織・京友禅等産地活性化基金（50億円）運用益（年利1.25%） | | | | |
| | ◇ 伝統産業産地支援事業 38,000千円 | | | |
| 〔目的 対象 方法等〕 | 趣 旨 | 長引く不況や生活様式の変化による需要の低迷が続く京都の和装・伝統産業界において、組織的に取り組む総合的な販路開拓事業や、後継者の育成事業などを、積極的に支援する。 | | |
| | 和装・伝統産業チャレンジ支援事業 13,000千円 | | | |
| | 和装・伝統産業の中小企業により構成された企業グループが行う、商品開発から販売戦略までの計画的な取組を支援する。 | | | |
| | 伝統工芸産地基盤強化事業 25,000千円 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統工芸支援事業 経済産業大臣及び知事指定産地の組合等が行う販路開拓事業や伝統工芸品の普及・PR事業を支援 ○ 後継者育成・技術継承事業 経済産業大臣及び知事指定産地の組合等が行う後継者育成及び技術継承事業等を支援 ○ 工芸産地青年会事業費助成事業 ○ 財団法人京都伝統工芸産業支援センター助成事業 | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 担当課・係名 | 染織・工芸課 工芸係 | 染織係 工芸係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4856 075-414-4858 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|---|--|-----------|--------------|
| 事業名 | 高校生きものチャレンジ事業費 | | |
| 予算額 | 5,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| <p>◇ 趣旨 将来の日本文化の担い手である高校生に対し、教育活動を通して、「きもの」などの日本の伝統文化に親しむ機会をつくり、子どもの文化・伝統に対する理解を深めさせるとともに若い世代にきものに親しんでもらい、きものの需要拡大に資する。</p> <p>◇ 実施概要 〔実施期間3年間（予定）〕</p> <pre> graph TD A[公募によるきものチャレンジ高校の選定] --> B[高校におけるきもの教育の推進] C(きものの貸出し) --> B D(ボランティアの協力) --> B B --> E[卒業までに各生徒が着付けを含め、きものの取扱いをマスターできることを目指す。] </pre> | | | |
| 事業内容 〔目的 対象 方法等〕 | <p>① 生徒に対するきもの入門講座の実施 ・きものに関する知識・実技を養成する講座等の開催</p> <p>② 高校の独自性を生かしたきものチャレンジプログラムの推進 (例) 諸外国との交流活動や修学旅行、文化祭、クラブ活動等におけるきものの着用等</p> <p>卒業までに各生徒が着付けを含め、きものの取扱いをマスターできることを目指す。</p> | | |
| 担当課・係名 | 染織・工芸課 染織係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4856 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商工部

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----------|--------------|----|--------------|----|---------------------------------------|----|-------|----|---|------------|--|
| 事業名 | ミラノにおける関西展（仮称）開催事業費 | | | | | | | | | | | | |
| 予算額 | 5,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 | | | | | | | | | | |
| 事業内容 〔目的 対象 方法等〕 | <p>＜趣旨＞</p> <p>様々な分野による交流の取組が進められているミラノ・ロンバルディア州と関西圏のさらなる連携強化とビジネス交流の拡大を目的に開催される「ミラノにおける関西展（仮称）」に、京都府としても積極的に参画し、イタリアの中小企業の技術や感性を学ぶと共に、伝統産業関係事業者等とイタリアの中小企業とのビジネス・技術交流を進め、その新たな展開に資する。</p> <p>＜実施概要＞</p> <table border="1"> <tr> <td>時期</td><td>平成16年10月（予定）</td></tr> <tr> <td>主催</td><td>京都府はじめ近畿各府県・政令市、商工会議所、（社）関西経済連合会等（予定）</td></tr> <tr> <td>場所</td><td>ミラノ市内</td></tr> <tr> <td>内容</td><td>関西紹介の総合的展示会 ・中小企業等の技術力・デザイン力の紹介によるイタリアとのビジネスチャンスの創出 ・文化観光PR</td></tr> <tr> <td>京都府 展示案</td><td>① 京都の伝統工芸等の技術・商品の展示紹介 ② 京都の伝統素材活用によるデザイン力PR ③ 京の若手職人作品展示</td></tr> </table> | | | 時期 | 平成16年10月（予定） | 主催 | 京都府はじめ近畿各府県・政令市、商工会議所、（社）関西経済連合会等（予定） | 場所 | ミラノ市内 | 内容 | 関西紹介の総合的展示会 ・中小企業等の技術力・デザイン力の紹介によるイタリアとのビジネスチャンスの創出 ・文化観光PR | 京都府 展示案 | ① 京都の伝統工芸等の技術・商品の展示紹介 ② 京都の伝統素材活用によるデザイン力PR ③ 京の若手職人作品展示 |
| 時期 | 平成16年10月（予定） | | | | | | | | | | | | |
| 主催 | 京都府はじめ近畿各府県・政令市、商工会議所、（社）関西経済連合会等（予定） | | | | | | | | | | | | |
| 場所 | ミラノ市内 | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 関西紹介の総合的展示会 ・中小企業等の技術力・デザイン力の紹介によるイタリアとのビジネスチャンスの創出 ・文化観光PR | | | | | | | | | | | | |
| 京都府 展示案 | ① 京都の伝統工芸等の技術・商品の展示紹介 ② 京都の伝統素材活用によるデザイン力PR ③ 京の若手職人作品展示 | | | | | | | | | | | | |
| 担当課・係名 | 染織・工芸課 工芸係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4858 | | | | | | | | | | |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|-------------------------|---|-----------|--------------|
| 事業名 | 観光都市KYOTOケータイサポート事業費 | | |
| 予算額 | 2,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| | <p>1 趣旨</p> <p>国の地域再生本部の設置を受け、我が国を代表する豊かな観光資源の集積や、高度なものづくり技術に支えられたケータイ産業の集積といった京都府の特徴を活かし、ケータイひとつで安心で快適な旅行が楽しめる「ケータイ観光」を推進するために、民間企業等とともに「ケータイ観光研究会」(仮称)を設置し、実証実験等に向けた調査・研究等を実施する。</p> | | |
| 事業内容 目的 対象 方法等 | <p>2 運営方法</p> <p>ナビゲーションサービス、おみやげ一括配送、携帯端末利用の決済システム等、実証実験の内容に応じてグループを編成し、グループを中心運営する。</p> <p>3 検討課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の個人属性、TPOにあった観光情報をリアルタイムに提供できる観光ナビゲーションサービス ・情報バリアフリーを目指したマルチ言語対応で通訳機能を有する携帯電話等を利用したサービス ・各地の店で購入したおみやげの配送を一括して行い、配送料金の低減等を図るおみやげ一括配送サービス ・キャッシュレス観光を目指した携帯端末利用の決済システム | | |
| 担当課・係名 | 観光・商業課 京ブランド推進係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4838 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|--------|--|-----------|--------------|
| 事業名 | 外国人観光客誘致促進事業費 | | |
| 予算額 | 10,000千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| 1 趣旨 | <p>訪日外国人観光客を倍増させるという目標のもと、国において「ビジット・ジャパン・キャンペーン」が展開されているが、京都府においてもそれと連携して積極的に海外に対して観光プロモーション活動を実施するとともに、情報の提供や発信を充実強化することにより、国際観光を振興し、京都府への外国人観光客の誘致を促進する。</p> | | |
| 事業内容 | <p>2 事業概要</p> <p>(1) ビジット・ジャパン・キャンペーン連携事業の実施 [内 容 (例示)] ・海外の観光展等への出展等 ・体験型観光プログラムの形成、商品化 ・中国、台湾、韓国からの修学旅行の受入促進 ・京都を拠点とする魅力的なF I T (個人旅行) ツアーの造成 <small>(* F I T = Foreign Independent Tour)</small></p> <p>(2) 府域英語版ホームページの作成 外国人観光客の府域への誘致を図るため、英語版ホームページを充実強化し、観光情報の提供・発信を図る。</p> | | |
| 担当課・係名 | 観光・商業課 京ブランド推進係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4838 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|-----------------|--|-----------|--------------|
| 事 業 名 | 府市連携京都観光案内推進費 | | |
| 予 算 額 | 2,605千円 | 新規・継続の別 | 新 規 |
| 内 容 | <p>1 趣旨 現在、京都駅ビル2階の「京都市観光案内所」で京都市域の観光案内が、9階の「京都府観光情報センター」で京都府域の観光案内が行われているが、2階で、府市が連携して、府域を含めた観光案内をワンストップで実施することにより、京都を訪れる観光客の利便性を高める。</p> <p>(平成15年10月に行われた「知事と市長の懇談会」での合意事項)</p> | | |
| 目的 対象 方法等 | <p>2 内容 京都市観光案内所に京都府観光連盟の職員を配置し、府域の案内を行う。</p> <p>配置数 1人</p> | | |
| 担当課・係名 | 観光・商業課 観光係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4841 |

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

| | | | |
|-----------------|---|-----------|--------------|
| 事業名 | 外国人観光インフォメーションセンター設置費 | | |
| 予算額 | 15,391千円 | 新規・継続の別 | 新規 |
| 事業内容 | <p>1 趣旨 京都を訪れる外国人旅行者が、観光・交通・宿泊等に関する適切な情報を容易に入手できる環境を整え、外国人観光客の誘致促進に結びつけるため、外国人観光案内所を設置する。</p> <p>2 内容 ・場所 京都駅ビル9階 京都府国際センター内 ・委託先 京都府観光連盟 ・機能 案内職員 常時2名 案内時間 10時～18時 (毎月第2・4火曜日、年末年始休み)</p> | | |
| 目的 対象 方法等 | <p>・その他 京都駅ビル2階の「京都市観光案内所」と連携を図りながら、観光案内を行う。</p> | | |
| 担当課・係名 | 観光・商業課 京ブランド推進係 | 課・係直通電話番号 | 075-414-4841 |